

# 国民平和大行進山梨県内行進 SNS ニュース

< 5月19日 >

## 山梨市

行進参加者 40人 自治体職員 6人

\*高木晴雄市長激励メッセージ 中山副市長が代読 ペナントと署名・募金を託していた  
だく。



〈山梨市高木晴雄市長からのメッセージ〉

国民平和大行進にご参加の皆様、山梨市へようこそお越しくださいました。山梨市を代表いたしまして、ご挨拶を申し上げます。2021年1月に核兵器禁止条約が発効され、人類は核兵器の廃絶に向かう、大きな一歩を踏み出しました。しかしながら、ロシアによるウクライナへの侵略の長期化をはじめ、世界情勢は依然として緊迫しており、『核による威嚇』が繰り返されるという、極めて深刻な事態が続いています。武力によって尊い命が奪われる暴挙は、いかなる理由があろうとも断じて許されるものではなく、ここに改めて厳重に抗議の意を表します。

昨年、広島・長崎への原爆投下から80年という大きな節目を迎えました。本年はそこからさらに一歩踏み出し、次なる10年、そして核なき未来の実現へと決意を新たにす「被ばく81周年」の年となります。いまだ世界に多くの核兵器が存在し、その使用の懸念がぬぐえない今こそ、世界唯一の戦争被爆国である我が国が、その惨禍と恐ろしさを次世代、そして国際社会へと語り継ぎ、平和の歩みを止めることなく進めていかなければなりません。

本市におきましても、平成18年に「核兵器廃絶平和都市」を宣言いたしました。以来、平和の尊さを発信し続け、全ての人々が安心して暮らすことのできる「平和社会の実現」に向けた取り組みを進めているところであります。また、昨年、武田美通・鉄の造形「戦死者からのメッセージ」を展示し、大きな話題を集めた「山梨市平和のための戦争展」の市役所での開催を毎年後援するなど、平和啓発活動団体への支援を通じて、平和行政の推進を図っております。

結びに、長きにわたり歩みを止めず、平和の尊さを訴え続けてこられた国民平和大行進の皆様のご努力に対し、心から敬意を表します。皆様の志の輪が、さらに大きく広がることを強く念願いたしまして、私からのあいさつとさせていただきます。



県内通し行進の岸田英子さんが挨拶

糠信市議が行進団激励の挨拶



## 甲州市

行進参加者 30人 自治体職員 20人  
鈴木幹夫市長 激励挨拶・ペナントを託していただく。



荻原市議が行進団激励の挨拶



「こどもたちに平和と未来を手渡す仲間の輪」の皆さんによる『群読』



30度を超える猛暑の中、元気に平和を訴えながら行進しました！

